

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well うエル おおさか

Vol. **44**
2021
winter
2月



池上曽根遺跡



和泉中央



和泉リサイクル環境公園



横尾山施福寺

写真提供 和泉市

特集

- ① コロナ禍に負けない！
アイデアと工夫で続ける民生委員・児童委員活動
- ② 一歩先行く民生委員・児童委員活動
～古くて新しい発想「班活動」(東京都)～
- ③ 「地域共生社会における民生委員・児童委員の役割
～コミュニティソーシャルワーカーとの連携～」

◎イキイキ ハツラツ
民生委員・児童委員さん
和泉市民生委員児童委員協議会

民児協だより
島本町民児協／四條畷市民児協
太子町民児協／泉大津市民児協

読者プレゼント

詳細は、
P14を
みてね!



東山作業所
ハッピーバッグ



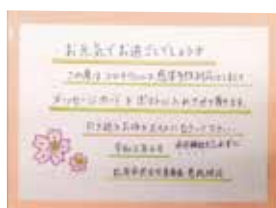
4名様



アイデアと工夫で続ける民生委員・児童委員活動

新型コロナウイルスの感染拡大によって、さまざまな活動を中止・延期・縮小せざるを得ない状況が続く、約1年が経過します。これまで続けてきた活動ができず、やきもきしているという声もあちこちで聞かれます。この特集では、コロナ禍をアイデアと工夫で乗り切る民生委員・児童委員活動の事例をご紹介します。

1枚1枚色鉛筆で描かれたイラストにほっこりします！



会えなくても 気もちを伝える

松原市民児協の恵我地区では、対面による訪問活動の代わりに、手書きの絵手紙にマスクや感染予防で気をつけることを記載したチラシを添えて、ひとり暮らし高齢者のもとに届けています。

絵手紙には、「お友だち・知り合いに電話してみませんか」と身近な人への連絡を呼びかけたり、「コロナのりきろうね。お身体を大切に」と思いやりの言葉が綴られています。手書きならではの温かさがあって、とても喜ばれています。

毎月約300世帯に配布。
地域住民に必要とされる
情報を求めて、市役所に
取材に行くことも
あります。



地域住民の声に寄り添う情報紙

河内長野市民児協の自由が丘地区では、令和2年4月に「ライオンズマンション千代田通信」という情報紙の第一号を発行し、以降毎月15日に地区の住民に配布しています。5月には、自由が丘地区を含む隣接する3地区合同での発行も行いました。この取り組みは、住民に民生委員・児童委員の活動及び行政のさまざまな施策や方針などを具体的に紹介することを目的に、民生委員と地区福祉委員の有志4人を中心に取り組みられています。

情報紙には、民生委員・児童委員活動の紹介、新型コロナウイルス関連情報や自主防災関連など喫緊の課題や情報が多く取りあげられています。情報紙を見た地域住民からは、高齢者の生活相談や各種生活支援制度の手続きなど毎月10件ほどの相談があり、今後も、地域住民の意見や悩みを受け止めて、その時々に応じた情報を発信していく予定です。

民児協ホームページで 情報共有

貝塚市民児協は、昨年4月、自分達で作るホームページを立ちあげました。

コロナ禍で委員同士の情報交換や交流ができない状況を踏まえて、新任委員の悩み事やこんな時どのように対応すればいいのかといった相談などをホームページ内に設置された委員専用ページ「みんなの声の掲示板」を通じて、委員同士が自由に楽しく交流できる仕組みが導入されています。

掲示板では、インターネット上での愛称（ハンドルネーム）で委員同士のメッセージのやり取りができるので、直接相談しづらい内容でも質問することができます。民児協ホームページが委員同士の新たなコミュニティを担っています。

ホームページには、活動以外にも歴史や趣味を紹介するページもあります。



初めての オンライン研修会

門真市民児協の主任児童委員連絡会では、子どもたちと直接会って活動することができない中でも、自分たちのスキルを高めようと、インターネットを通して、講師の講義を聞く、オンライン研修会を実施しました。

初めてのオンライン研修会で不安もありましたが、画面越しに講師と参加者一人ひとりがやりとりを行い、楽しみながら有意義な研修会を開催しました。

門真市内の
こども園の
ゆうぎ室を
借りて実施



民児協でICT （情報通信技術） を活用

泉大津市民児協では、市役所や市社協と連携し、自宅にインターネット環境がなくともテレビを通じて動画や写真を共有できるサービスを活用し、ひとり暮らし高齢者などに民生委員活動の紹介や生活に必要な情報発信の試行をしています。

また、インターネットで委員同士の情報共有やスケジュール確認が簡単にできるグループウェアを民児協役員と事務局で試験的に導入している市町村もあります。

民生委員活動・民児協活動における情報共有、負担軽減にICT（情報通信技術）を活用する動きも徐々に広がっています。

1人暮らし高齢者の
元に届けられた
民生委員・児童委員の
紹介動画
（泉大津市民児協）



メッセージ

コロナ禍でこれまで当たり前に行ってきた活動ができない日々が続いています。こんな時だからこそ、地域住民や委員同士がつながり続けるためのアイデアと工夫が求められているのではないのでしょうか。今回ご紹介した民生委員・児童委員活動の事例を参考に、各市町村の地域事情にあわせた取り組みを考え、力をあわせて活動を続けていきましょう！



特集2

一歩先行く民生委員・児童委員活動

古くて新しい発想「班活動」(東京都)



民生委員・児童委員の担い手確保と活動環境の改善は、全国的な課題となっており、各地でさまざまな取り組みが行われています。今回は、東京都民生児童委員連合会（以下都民連）が行っている「班活動」について紹介します。

「班活動」とは？

「班活動」とは、委員の資質の向上や負担軽減を目的とした委員同士の支えあいの仕組みです。（下図参照）

担当区域のケースは担当委員が責任をもって対応することを基本にしながら、近隣区域の委員数名で「班」を組んで活動します。「班」は、町会・自治会・校区などの地域性や男女比、経験年数の差を考慮し編成します。

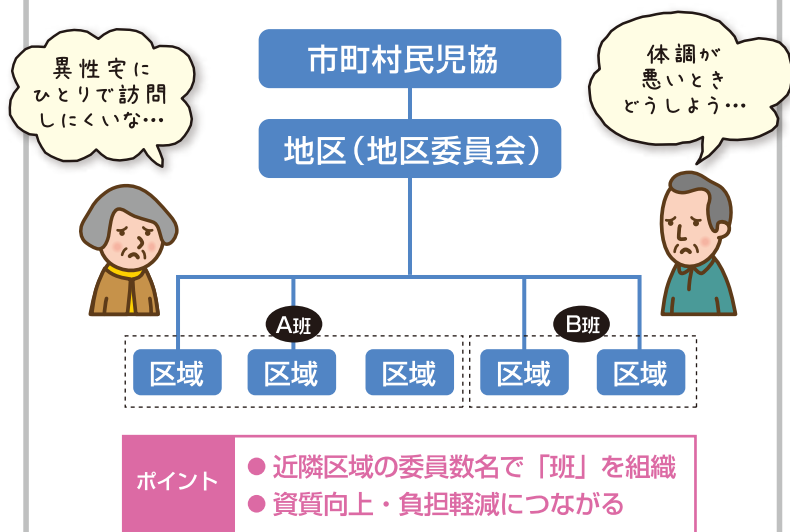
班員同士で、定期的集まり、各委員の抱えるケースや情報を共有します。困難なケースを委員一人が抱え込まず、必要に応じて班で対応することで、負担の軽減にもつながります。

地域住民にとっては、担当委員が不在の場合でも、他の班員に相談できるなど、利便性が高まり、複数の委員に見守ってもらえている安心感があります。

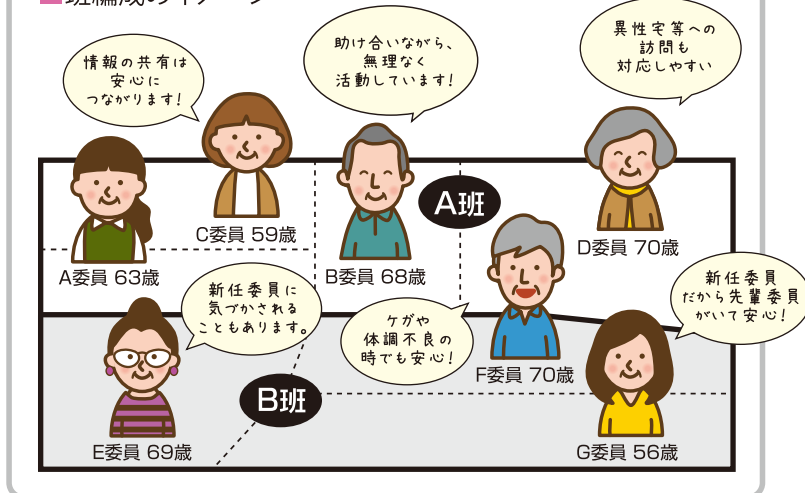
班活動導入のきっかけ

平成3年に都民連は、「民生委員・児童委員活動に関する基本問題委員会」を立ちあげ課題を検討しました。「民生委員・児童委員の資質」の課題については、委員の知識や経験、技術の程度等の個人差を埋める必要性があげられ、新任委員と先輩委員がチームを組んで活動にあたるチーム

「班活動」のイメージ



班編成のイメージ



担当方式が提案され、平成19年から「班活動」が導入されました。

現在都内の約3割程の民児協が取り入れています。活動強化方策の1つにこの班活動を位置づけ、さらなる推進を図っています。

東京都では、町会や小学校区、指定避難所の区域ごとに分けた班編成など、地域の活動の実態に合わせて自由に班が組まれています。



ステップ ①

班作り

①人数

— 班の人数は4～6人くらいがよいでしょう。区域を担当しない主任児童委員も一緒に参加するような班編成を考えましょう。

②経験年数や性別

— 班を組む時の一番のポイント。ベテラン委員と新任委員、男性と女性をバランスよく配置した班の組み合わせを検討しましょう。

③班長やエリアマップの作成

— 班長を置くことで活動の段取りがスムーズになります。また、班編成後、区域担当と班のエリアマップを作成すると地域特性を把握でき、便利です。



ステップ ②

班活動のすすめ方

①情報交換

— 日頃の活動の疑問点や経験、地域の福祉課題について班で定期的に話し合う場をもちましょう。ケースを共有しておくことで、担当委員が不在の時なども連携しやすい体制が整います。守秘義務を持っているからこそ、お互いの情報を安心して共有できます。

②相互学習

— 活動のノウハウや事例検討、地域の社会資源の調査（地域の福祉施設や関係機関への訪問など）に取り組むことで、互いに学びあい、班員同士のスキルアップを目指します。地域の課題解決に向けて、問題意識を深めあうことも大切です。

③ケースの協働

— すべてのケースを班内で共有する必要はありませんが、困難なケース、不在時の対応など、ひとりで活動するよりも班で活動した方が一人にかかる負担を軽減することにつながり、よりよい支援に結びつく場合があります。班員同士、助け合いながら、無理なく活動しましょう。

班活動を継続する コツ

- 定例会の後に班会の時間を設け、30分～1時間程度話し合い、情報交換しましょう。
- すべての活動を班で行うのではなく必要に応じて、個人と班で活動するか使い分けましょう。
- 班では、お互いに和やかな場づくりを心掛けましょう。



80代の親が50代のひきこりの子とともに孤立する「8050問題」や、親の介護と育児を同時に担う「ダブルケア」など、複合的な生活福祉課題は、分野ごとに相談窓口が分かれているため、たらい回しになったり、情報が共有されず支援が途絶えるなど、従来の分野別の制度や仕組みでは対応できていない状況があります。

現在、国は「地域共生社会」の実現を目指し、令和3年4月から、市町村における「包括的な支援体制」を構築するため、断らない相談支援、就労・学習など多様な社会参加支援、地域づくりなどの取り組みが推進されます。

大阪府内では、平成16年度から、概ね中学校区単位で地域における見守り・発見・相談・つなぎの機能を担う「コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）」の配置や、社会福祉法人（福祉施設）の地域貢献事業「大阪しあわせネットワーク」の総合相談・緊急支援、就労支援・居場所づくりなどの取り組みが展開されています。

この特集では、地域共生社会における民生委員・児童委員の役割の1つとして「コミュニティソーシャルワーカーとの連携」についてご紹介します。

民生委員・児童委員が「CSW」と連携した事例について

事例① 80代父親と50代無職の息子2人暮らし世帯の事例

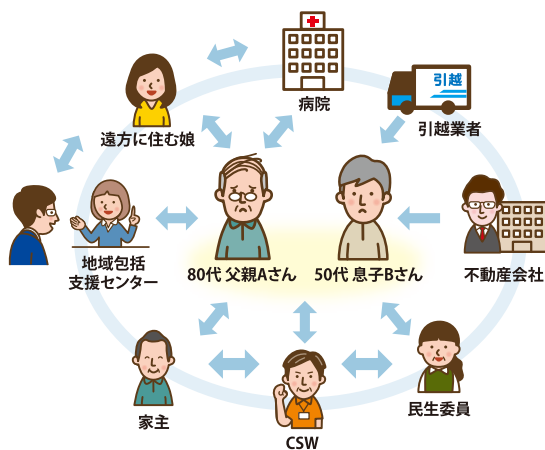
家主が家賃の徴収に訪問すると、80代の父親Aさんが1ヵ月前に訪ねた時とは別人のように痩せていることに気づいて心配になり、担当の民生委員に連絡しました。

民生委員が訪問し、Aさんに話を聞くと「お金がなくて病院に通うことができていない」と訴えていたことから、緊急支援が必要だと感じた民生委員はCSWに連絡。CSWとともにAさん世帯への支援がはじまりました。

CSWは、地域包括支援センターと連携し、Aさんの病院受診、引っ越しの段取り、遠方に住むAさんの娘への連絡などの調整を行いました。

その後、Aさんは介護サービスの利用がはじまり、同居の50代無職の息子Bさんには、就労支援や家事など生活習慣を整えるサポートを行っています。

訪問時のちょっとした変化や異変への気づきが必要な支援につながるきっかけになりました。



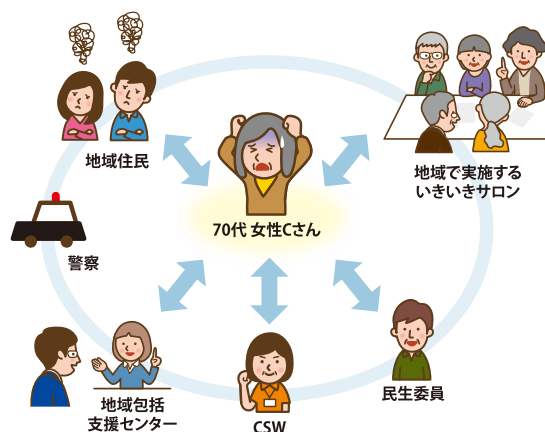
事例② 近隣トラブルで孤立する高齢者が地域のサロンにつながった事例

近隣住民に対する被害妄想（毒物混入・盗聴・監視など）から騒音や暴言で近隣住民とトラブルがあり、度々警察も駆けつけ、地域で孤立している70代女性Cさん。配偶者の生前は定期的に精神科を受診していましたが、現在は受診できていない状況でした。

地域包括支援センター・CSW・普段から関わりのある民生委員がCさんを訪問、何度かお話を傾聴し関係性もできてきましたが、病院の受診をすすめて「相談しても何も変わらない!」と怒り出し、以後、訪問や支援を拒否するようになってしまいました。

この市では民生委員の多くが地区福祉委員を兼ねていることもあり、関係者でケース会議を行い、Cさんに関わるきっかけとして、民生委員から地区福祉委員会のいきいきサロンにCさんを誘ってみることにしました。

もともとお話好きだったCさんはいきいきサロンに通うようになり、少しずつ心を開いてくれるようになりました。病院の受診が必要な状況は変わりませんが、民生委員や地区福祉委員の理解と協力によって、Cさんを受け止める場につながり、CSWが継続して関わっています。



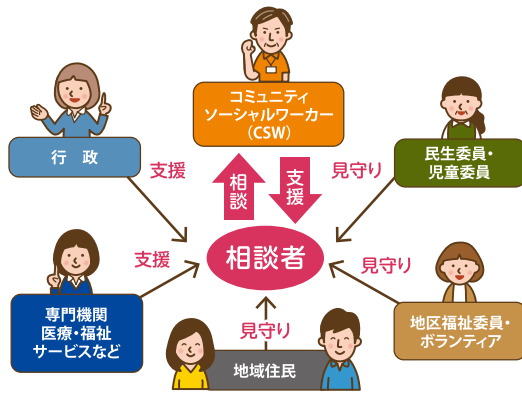
「CSW」について

「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」は、自ら地域に出かけ、さまざまな相談や困りごとを受け止め、必要なサービスや専門機関へつないだり、地域における支援ネットワークづくりなどの個別支援を行います。

また、地域住民同士の支え合い活動を支援したり、現状のしくみや制度で対応できない地域課題の解決に向けて関係機関と連携して新たな仕組みづくりも行います。

支援の対象者の中には、制度の狭間で生きる意欲や希望を失っている人や、支援を拒否されたり、「コミュニケーションが困難な人もあります。

CSWは、根気よく信頼関係を築きながら、こうした人びとが地域から排除されたり、孤立しないよう、地域住民とともに活動しています。



「CSW」の配置状況

大阪府内（大阪市・堺市を除く）においてCSWは、主に市町村社協や福祉施設など、約200人（令和2年4月時点）が配置されています。市町村ごとの配置場所や連絡先は、大阪府ホームページ内「コミュニティソーシャルワーカー連絡先一覧」をご参照ください。

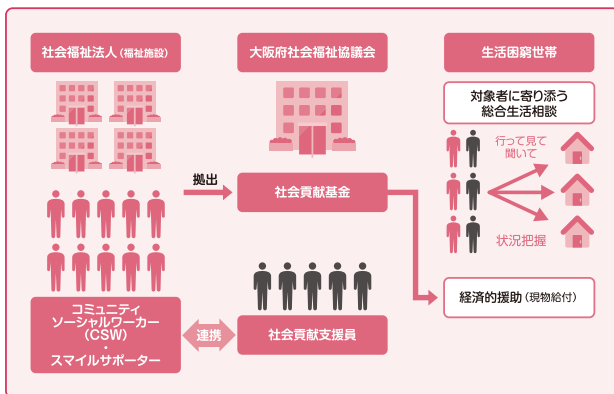
「大阪しあわせネットワーク」について

大阪府社会福祉協議会（以下、大阪府社協）とその会員の社会福祉法人（福祉施設）は、生活困窮や社会的孤立の課題など「制度の狭間」のニーズを社会福祉施設の機能や人材を活かして支援する「大阪しあわせネットワーク」を府内全域で推進しています。

「大阪しあわせネットワーク」では、①総合生活相談と緊急・窮迫した生活困窮に対する食料などの現物給付を行う「生活困窮者レスキュー事業」、②就労支援、子育て支援、居場所づくり、困窮世帯の子どもの学習支援など様々な地域貢献事業を展開しています。また、これらの事業のために、社会福祉法人（福祉施設）が「社会貢献基金」を財源として拠出しています。



社会福祉法人の強みを活かしたワンストップの何でも総合生活相談「生活困窮者レスキュー事業」



社会福祉法人（福祉施設）の強みを活かした様々な地域貢献事業の実施



大阪しあわせネットワークとの連携事例

事故で怪我をし、仕事を退職せざるを得なくなった50代女性のDさん。わずかな貯金を取り崩しながら生活していましたが、家賃を滞納するようになり、日々の生活に不安を抱えていました。

そんな矢先、家主から連絡を受けた民生委員がDさんを訪問。あいにくDさんは不在でしたが、CSWの連絡先など困りごとを相談できる連絡先を書いた手紙を民生委員が郵便受けに入れておいたことで、後日、その手紙を見たDさんからCSWに連絡がありました。

CSWや民生委員が同行して生活保護の申請をすすめ、生活保護が受給できるまでの間の食料や滞納した光熱水費等の緊急的な支援を社会福祉法人（福祉施設）が行い、再び生活を立て直せるようになりました。

「大阪しあわせネットワークポータルサイト」について

「大阪しあわせネットワーク」の概要や取り組み事例の紹介、地域貢献事業に取り組む社会福祉法人（福祉施設）の検索については「大阪しあわせネットワークポータルサイト」をご参照ください。



<https://www.osaka-shiawase.jp/>



民生委員・児童委員さん

●和泉市民生委員児童委員協議会●

活動しやすい環境を作るために
民児協の組織を抜本的に改革!

令和元年の一斉改選を機に、抜本的な組織改革を行った和泉市民児協のみなさん。新任委員の不安を解消すると同時に、さまざまな勉強会や研修を取り入れ、一人ひとりが誇りをもって活動できる環境づくりを目指しています。

今期から組織大改革 新体制でスタート!

和泉市民児協では、令和元年12月の一斉改選後、組織を大きく「企画委員会」「部会」「主任児童委員連絡会」に分け、企画委員会は「みまもりチーム」「広報チーム」「研修チーム」、部会は「児童」「障がい」「高齢」から編成。部会全体と各チームの責任者を副会長が担っています。

さらに、和泉市民児協は21地区に分かれているので、それぞれの地区から、各部会と各チームの代表者を1名ずつ選出。代表の方は、部会やチームで話し合ったことを地区にもち帰り、民生委員・児童委員（以下民生委員）全員で共有してもらうシステムにしました。

これまでの体制では、全員が必ずいづれかの部会に所属するシステムだったので、1つの部会に所属すると3年間その部会に関することは学ぶのですが他の部会がどんな研修や活動をしているかもほとんど知らず、互いに学んだことを共有することもなく終わっていました。しかし、本来、民生委員は全ての住民と幅広く関わる必要があります。民生委員の皆さんが、より活動しやすい環境を作ること

を目的として、今回の組織改革が実現されました。

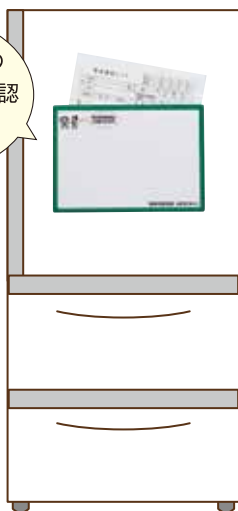
新規発足した企画委員会 新任研修から活動を開始

研修チームの初仕事は新任研修です。初めて民生委員になった方が必ず受講する研修で、令和元年12月に開催されました。和泉市版の研修資料を作成し、民生委員の基本的な仕事や和泉市独自の活動内容について具体的に研修しました。次に行ったのが、今年1月に開催された地区委員長研修です。新任の地区委員長はもちろん、新しい組織になったので、これまで経験のある地区委員長にも参加してもらいました。その後もさまざまな研修を行う予定でしたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、しばらく研修を断念せざるを得ない状況が続きました。



みまもり対象者の
ステッカー

緊急連絡先の
用紙をすぐに確認
できて安心!



「みまもりキット」とは、ホワイトボード、緊急連絡先などの記入用紙、ステッカー、ホワイトボードマーカーのセット。冷蔵庫の扉にホワイトボードを貼り付け、ホワイトボードの裏に緊急連絡先の用紙を挟む。ステッカーは消防局の方にみまもり対象者宅と分かるよう、玄関や勝手口の扉の内側に貼っておく。

みまもりチームでは、平成30年度の制度創設100周年記念事業の一環ではじめたみまもり事業を継続していきます。この事業は、乳幼児から障がい者を含む高齢者までを対象に、「みまもりキット」を持つての訪問活動です。訪問活動の中で、みまもり対象者の台帳づくりを行い、民生委員全員が所持することで、みまもり対象者の引継ぎなどもスムーズに行えるようになりました。



「委員と交流を深め、相談しやすい関係を築きたい」と話す花谷会長



左より 眞砂裕充副会長、花谷平和会長、猪尾巧副会長、山本佐知子副会長



広報チームでは、対象に合わせた広報誌の作成に力を入れています。21地区の代表がA・B・Cの3チームに分かれ、Aチームでは、従来から発行していた、回覧や全戸配布で全市民に向けて発信する「民児協いずみ」を年2回制作。Bチームでは、民生委員同士が情報を共有するための「みんなのいきだより」を制作。Cチームでは、全市民にタイムリーに発信する、活動やイベント告知のチラシを制作しています。

部会及び

主任児童委員連絡会の動き

◎部会

「部会」の主な活動は、民生委員の一番の仕事ともいえる相談活動です。児童、障がい、高齢、それぞれ相談を受けた時の対処法や専門機関へのつなぎ方など、勉強会や研修を中心に行います。先日、開催された高齢福祉部会の全体研修では、地域包括支援センターと民生委員が距離を近づけ、密接に連携していくことを最重点においた研修を行いました。民生委員が地域包括ケアシステムの一員としての役割を担えるようなスキルアップを目標にしています。

障がい福祉部会では、障がい者理解や専門機関へのつなぎ方について研修を実施。和泉市障がい者相談支援センターから講師を招きました。同時に、障がい者理解のためのあいサポーター研修を実施。あいサポーターの登録も行いました。

児童福祉部会では、こんにちは赤ちゃん事業の充実について活動しました。保健センターの方と生後4カ月までの赤ちゃんのいるご家庭に訪問したときに何ができるか、見守りや保健センターとの連携について検討しました。

◎主任児童委員連絡会

「主任児童委員連絡会」では、主任児童委員の認知について全小学校の保護者を対象にアンケートを実施。認知度の現実を知ると共に、課題やニーズを把握する目的で、集計中です。アンケートには、担当校区の主任児童委員の名前や連絡先が記入されており、回答してもらうことで、主任児童委員を知ってもらえるよう工夫されています。

民生委員の欠員をなくし、助け合える環境を目指して

和泉市民児協が抱える重点課題のひとつに民生委員の欠員問題があります。花谷会長は「最終的には充足率を100%にしたいと思っています。そのためには、委員さん



あいサポーターバッジ

表紙写真の周辺地図をご紹介します！

池上曽根遺跡・和泉リサイクル環境公園・榎尾山施福寺

全国有数の弥生時代の集落跡「池上曽根遺跡」をはじめ、四季折々の花が彩る公園、西国四番札所の榎尾山施福寺など、歴史と自然にふれあえるまちです。



が3年間誇りをもって楽しく活動できるように、何かあっても先輩や同僚委員と助け合えるムードを作っていきたい。やりがいや達成感をもって活動できることが、欠員の解消につながっていくと思います」と話されます。民生委員の不安を解消し、地域住民と専門機関のつなぎ役として活動しやすい環境を作るための新体制。再任の方の中には、「もっと早くからやってほしかった」という声も聞かれるほど、滑りだしは順調です。まずは1期3年後に「活動しやすくなった。やりがいを感ぜられる」といった声が聞かれることを期待しながら、新体制の運営に取り組んでいます。

民児協だより

【北摂ブロック】

島本町



ケリヤホールでの定例会(10月)



民生委員児童委員信条は心の中で復唱しました



分散定例会(7月)



時間を区切った地区会(6月)

次回は新しい
方々や自分自身
のためにも名札
を忘れないよう
にします。
(第3地区地区長)



お礼の寄せ書き

緊急事態宣言発令後、すべての会議、研修は中止となり、3月・5月の総会、定例会は書面審議で乗り切りました。7月は2回に分けて定例会を行い、10月になってようやく全員参加で定例会を開催することができました。三役会と役員会だけは、何とか毎月開催し、各部会では、講師を招いての研修会も行うことができました。このコロナ禍の中での民生委員・児童委員活動(中でも新任委員の方々に)は本当は大変でした。一日も早くこのコロナ禍が収束することを祈るばかりです。

地区会が開催できると聞き、少し緊張が解けました。自粛期間中は何か落ち着かない日々でしたが、反面、本来の自分の生活に戻ることができ、ゆったりと自分の時間を楽しめました。地区会の連絡はメールで送信するのではなく、電話でお知らせしました。電話の向こうの元気な声を聴くことができ、反対に元気をもらいました。地区会では座席を楕円形に設置して行いました。座ってみると皆さんの顔はよく見えるのですが、マスクをつけての声が残念ながら聞き取りにくいように思いました。

緊急事態宣言も解除され、島本町ではまだ感染者が出ていなかったため、例年のように、一日里親事業を行なえると思っていました。コロナ禍の中でも、何とか決行しようと、京都水族館の下見をし、当日のおやつ準備も済ませ、用意は万端！しかし、それまで感染者がなかった島本町にも感染者が出始めました。心配と不安：そして、いつにもましての猛暑。最終決定の日。こんな厳しい状況の中での決行は、やはり無理だと判断しました。用意したおやつは、楽しみにしていた子どもたちに届けました。一緒に行きたかったね！残念！(児童福祉部会部会長)

島本町民児協

コロナ禍の中で！
活動を模索して

コロナ禍での地区会

令和2年度一日里親！
行きたかった!!



講師を招いての定例会



先輩委員からの応援メッセージ

や施設訪問を取りやめ、講師を招いて研修を行い、児童福祉部会が企画した少年犯罪被害当事者の会代表、武るり子さんの体験や活動についての研修を委員全員で受けました。



【河北ブロック】

四 條 畷 市

コロナ禍での取組み

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、四條畷市民児協は3月から5月までの地区活動と定例会、6月の一泊管外研修、親と子の映画会及び子育て講演会は中止の判断をしました。

その後は、感染症対策に細心の注意を払い、工夫しながら活動を順次行ってきました。定例会を委員数の10倍収容できる市民ホールで実施、7月定例会ではスクールソーシャルワーカー（SSW）による研修を行い、コロナ禍が学校や子どもたちに与えている影響を学びました。

専門部会では他市へ出向いての交流

感染症の収束が明確に見通せない中、「細心の注意を払いながら民生委員活動を行っていく」という方針のもと、活動を継続していきます。

『新任民生委員へのフォローアップ研修』

経験豊かな委員から、民生委員としての活動、地域福祉のあり方についての研修会が実施されました。

多様化した課題に対応できる知識の習得の必要性和、身近な事例を紹介するとともに、等身大の言葉で語る先輩委員からの『一緒に民生委員活動していこう』という強い応援メッセージがありました。

今後の活動に活かせるものと期待しております。

『子育て支援活動』

新たな取り組みとして、子育て支援の拠点となる集いの広場を訪問し、大阪児童福祉推進基金を活用した「絵本の読み聞かせ」を行いました。

今後の活動として、市内の保育園・幼稚園に広がっていきたく考えています。

地域活動では、参加者に事前にウェブで感染防止対策をお願いし、「親子で花

火大会」を開催しました。子どもたちにとって夏休みの楽しい思い出の1ページになりました。

四條畷市民児協



親子で花火大会



コロナ禍での新たな取り組み



万葉集の歌碑に詠われた二上山

〔民児協だより〕

【河南ブロック】

太 子 町

行事の復活を期待して

太子町は、竹内峠^{たけのうち}を越えれば奈良県となる大阪府の南東部に位置しています。

人口が、1万3千人余りのなか民生委員・児童委員は、現在30名で活動を続けています。

少人数が幸いして、連携・つながりもつよく、毎月1回の定例会、管外研修（昨年度は島本町の大阪水上隣保館を訪問）、一泊研修（昨年度は台風で中止）を通じて、顔をつき合わせて、取り組み状況や悩みの話を交換するなかで互いの理解も深まっています。



大阪水上隣保館訪問（春季管外研修）



フォトフレーム作り（ふれあいTAISHI）



けん玉遊び（ふれあい広場）



コマ作り（ふれあい広場）

民児協全員による地域活動の一つに、町のイベント「ふれあいTAISHI」への参加があります。

昔の遊び（竹馬・竹ぼっくり・けん玉）に子どもたちの歓声と親たちの応援の声に委員も元気づけられます。昨年度は、オリジナルフォトフレーム作りも行ないました。粘り強く挑戦したり、意欲的に作業する子どもたちにふれあい、ほっこりしたものでした。

もう一つは、町の3地区それぞれで実施する「ふれあい広場」です。出店・コマ回し、べったん、お手玉遊び等の子ども

コーナー、映画鑑賞等の取り組みに私たち委員も汗を流しました。

しかし、新型コロナウイルスのためこれらの行事はすべて取り止めとなり、地域の絆が停滞しないか心配です。今できることは、地域の見守り活動、地域での話し合いの場への参加、学校との連携による子育て支援等と限られています。委員一人ひとりがマイペースに活動を続け、行事が復活する日を待ち望んでいます。

太子町民児協



動画共有サービスを使って、すこやか訪問の事前案内動画を訪問宅に共有



民生委員が訪問に使用した封筒。
中には生活に役立つものを封入し持参した。



【泉州ブロック】

泉 大 津 市

コロナ禍での安否確認

泉大津市民生委員児童委員協議会では、平成25年から70歳以上のひとり暮らしの方を対象に定期的な見守り訪問活動（すこやか訪問）を行っています。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、令和2年2月頃から本市でも地域で行われているイベントが次々と中止になり、外出を控える高齢者が増えていました。そして令和2年4月に緊急事態宣言が出され、ますます外出を控える高齢者が増加し、住民同士のふれあいやつながりの機会が一時的に失われる

ことから、要支援者が孤立してしまうことが喫緊の課題となりました。

このような中、本協議会では日頃から行っていた「すこやか訪問」をゴールデンウィーク中に速やかに行うことで要支援者の孤立防止・早期支援に繋げたいと考え、市社協と協力し実施しました。

訪問には運動不足解消のために自宅で行える体操のチラシや警察からいただいた詐欺の注意喚起チラシ、市指定のゴミ袋などを封筒に入れて持参しました。

訪問では、特に感染予防のため対象者との直接的な会話は避け、インターホン越しや電話で話を行う等、ソーシャルディスタンスを心掛けて安否を確認しました。

また、マスクの需要が高まったことからマスクが手に入らず、思うように外出できなくなっていることが課題となっていました。そのことを受け本協議会では、市社協ボランティアセンターと協力し、登録ボランティアのみなさんが作られた手作りマスクを令和2年8月に再びすこやか訪問として配布しました。マスクの素材を夏でも暑くなく、素材にするなどの工夫がされていて対象者からもとても好評でした。



ボランティアのみなさんが作られた夏でも暑くない素材のマスク

今回のすこやか訪問を実施した中で、対象者の中には一時的に家族のもとに身を寄せるなどさまざまな理由で連絡がつかず困りましたが、市社協をはじめ、さまざまな機関と連携することで対象者全員の安否を確認することができました。また民児協だけではなかなか対応できないことも、他の機関や団体と協力することで可能になるということが分かった。改めて日頃から横のつながりをもつことの重要性を実感した活動となりました。

泉大津市民児協

令和2年度「主任児童委員活動状況アンケート」結果報告

府民児協連主任児童委員連絡会では、コロナ禍における府内の主任児童委員の活動状況に関するアンケート調査を実施しました。その調査結果の概要をご報告します。

①実施期間

令和2年11月13日～12月4日

②対象数

49 府民児協
48 市町村民児協

※市町村民児協の主任児童委員の代表等が回答

①主任児童委員の活動状況

コロナ禍における主任児童委員活動の実施状況については表1の結果となりました。

子どもの見守り活動への参加はおおむね実施されている一方で、学校関係行事は約半数が中止・延期、地域行事はほとんどが中止・延期されていることが分かりました。声を出さず「おはよう」と書いたプラカードを持って朝の挨拶運動を行うなど、児童との接触や会話を避ける工夫をした見守り活動を実施している市町村もありました。



【表1】主任児童委員の活動状況

活動内容	市町村の主任児童委員の関わり		令和2年11月1日時点の取組状況				
	有	無	実施	中止	延期	再開予定	その他
子ども見守り活動への参加（見守り・声かけなど）	43	5	36	3	1	1	0
学校行事・学校支援ボランティアへの参加	42	6	17	20	1	2	1
地域行事への参加・協力	42	6	6	30	1	2	1
地域や学校のネットワーク会議・交流会への参加	41	7	20	12	4	2	1
校区（地区）福祉委員会活動への参加	40	8	22	13	1	1	1

【表2】関係機関等との連携状況

連携先	コロナ以前からの主任児童委員との関わり		コロナ禍の主任児童委員との関わりの有無	
	有	無	有	無
社会福祉協議会	46	2	41	5
中学校（同上）	42	6	24	22
市町村	40	7	29	15
市町村保健センター（保健師等含む）	35	13	18	27

②関係機関等との連携

コロナ禍における主任児童委員と関係機関等との連携については表2の結果となりました。

社会福祉協議会との連携については、コロナ禍の前後もともに連携している市町村が多いという結果になりました。

生活に困窮し、社協に相談に訪れた世帯の子どもたちの見守りやお弁当を届ける個別支援で連携した市町村もありました。

③情報共有の方法について

日々の委員相互の連絡・情報共有の方法については表3の結果となりました。

コロナ禍を機に主任児童委員のLINEグループを作成し、連絡をスムーズに行っている市町村もありました。

【表3】主任児童委員相互の情報共有

委員相互の連絡・情報共有の方法	日常的な委員相互の連絡・情報共有	行政や地域の関係機関との情報共有
LINEなどのSNSツールの活用	41	13
3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保等に配慮しつつ対面（直接）で実施	40	39
電話	37	40
Eメール	22	19
文書（郵送含む）	17	29

本アンケート調査を通じて、コロナ禍でこれまでの活動が実施できない状況の中、さまざまな工夫を凝らして主任児童委員活動が続けられている実態が明らかとなりました。アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

たくさんの
ご応募お待ちしております！

1本1本の糸から心を込めて織りあげた「さをり織コインケースとコースター」、洗剤なしでもよく落ちる大人気商品アクリル100%の「アクリルタワシ」、(株)珈琲屋さんが焙煎したコーヒーを計量加工したオリジナルネームの「芽ばえブレンド」のセットです。



東山作業所 ハッピーバッグ

4名様

〈読者プレゼントの説明〉

- コーヒー 1つ ●アクリルタワシ 2つ
- コインケース 1つ ●コースター 2つ

応募方法

必要事項をもれなくご記載いただき、締切日までに**FAX**
または**本会ホームページの応募フォーム**からご応募ください。

応募締切 **令和3年3月19日(金)午後5時必着**

必要事項

- ①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号
 - ④所属(民生委員・児童委員、関係機関職員、その他)
 - ⑤一言コメント・感想
- (本誌へのご意見・ご要望などお気軽にお寄せください)

宛先

大阪府民生委員児童委員協議会連合会事務局

[FAX] 06-6762-9487

[H P] <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



〈Wellおおさか43号の当選者〉

おめでとうございます! 皆様ご応募ありがとうございました!

高槻市 K・Hさん、豊中市 K・Eさん、箕面市 M・Aさん

▼事務局だより



オンラインのすゝめ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネットを活用した
オンラインで参加する会議や研修会が広く世間に普及することになりました。

大阪府民児協連においても、新しい試みとして、インターネットを活用して研修動画を配信し、各委員が自宅に居ながら、いつでも何度でもパソコンやタブレット、スマートフォンで視聴できるオンライン研修会を企画しています。

オンライン研修会は、密を避ける手段にもなりますが、お仕事やお出かけ、家事の隙間時間を活用し、自分のペースで視聴できるので、委員活動の充実と負担軽減にもつながるのではないのでしょうか。

講師や委員同士が実際に会って、互いに学び、交流を深められることが一番ですが、直接会えない今だからこそ、インターネットやオンラインでの参加にチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。



正副会長会もZoomで実施



専門用語を少なく、やさしい文章で**Zoom**の使い方が解説されています!

大阪ええまちプロジェクトとは、若手からシニアまで、オール大阪で住民同士の助け合い・地域づくりの活動を支える取組みです。
※総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の着実な実施を目的とした大阪府の事業です。

「大阪ええまちプロジェクト」ホームページよりZoom利用手引書をダウンロードしてお使いいただけます。

ホームページトップ > 「ええまちづくりの工具箱」メニューより

「高齢者にとって分かりやすくやさしく取組めるZoom利用手引書」

<https://eemachi.pref.osaka.lg.jp>



大阪ええまちプロジェクト

検索



民生委員・児童委員が
応援団!!
わがまち
★逸品★
池田市民児協
Vol.9

プレゼントの商品の紹介

社会福祉法人
池田芽ばえ福祉会
東山作業所の
みなさん



さをり織りの糸の配色は利用者さんのセンス。
速い時は6mの布を1日半で織り上げます。

昨年、開所20周年を迎えた指定障がい福祉サービス事業所「東山作業所」は、池田市東山町にある知的障がい者のための生活介護事業所。現在53名の方が在籍しており、一人ひとりの個性や意向をもとに5つの班に分かれ、自立した生活活動や余暇活動を行っています。



「東山作業所」では、個別支援計画に基づき、意思決定、自己選択できる機会を大切に支援を行っています。一人ひとりに合わせて一日のスケジュールを作成。利用者さんが快適に過ごせる空間を提供し、その人の能力や可能性を伸ばせるよう工夫しています。また、朝のウォーキングや運動器具を使った個別メニューを作成するなど、健康維持にも努めています。



スヌーズレン:重度知的障がいの方のリラックス空間

「東山作業所」では、個別支援計画に基づき、意思決定、自己選択できる機会を大切に支援を行っています。一人ひとりに合わせて一日のスケジュールを作成。利用者さんが快適に過ごせる空間を提供し、その人の能力や可能性を伸ばせるよう工夫しています。また、朝のウォーキングや運動器具を使った個別メニューを作成するなど、健康維持にも努めています。



小さなゴムを点検。一つ一つ並べる作業で自助具が大活躍!



仕事の合間にDVD鑑賞。個別のスケジュールにより仕事の効率をアップ。

自主製作品には、さをり織り、アクリルたわし、自然肥料のEMぼかし、施設で栽培した野菜などがあります。また、池田市の珈琲店が焙煎したコーヒーの粉を計量加工したり、施設オリジナルネームの芽ばえブレンドも販売。これらの商品は、施設のお祭りや市内のイベント、阪急池田駅前の組合施設が運営するショップ「とよのピアin池田」で販売して

います。このほか、企業から依頼されたゴムパーツの点検や部品の組み立て、商品の袋詰め、進物用の箱の組み立てなど、仕事は多岐にわたります。

そんな利用者さんの仕事に欠かせないのが、スタッフが試行錯誤を重ねた手づくりの自助具。

企業の仕事を納期までに正確に仕上げるために、利用者さんの障がい特性に合わせて作成した補助道具です。「自助具は本当に人それぞれ。これにより、皆さんも意欲的にお仕事されます」とスタッフの三浦さん。



20年間、毎日欠かさず続けているのが、健康維持や気分転換のために始めた朝のウォーキング。歩きながら

朝のウォーキングで健康維持。ご近所の方とも顔見知り。

ら清掃したり、地域の方々に利用者さんが元気に「おはようございます」と挨拶していくことで、近隣の方々との顔の見える関係性を築くことができました。「開所当初は理解されにくい部分もありましたが、20年経って、地域の方々にも声をかけていただいたり、ボランティアに参加していただくなど、地域に根差した施設になりました。多くの方に支えていただいて、この施設があると思います」と施設長の片岡さんは話されていました。



中西史三さん
(池田市民児協 生活福祉部会長)

池田市民児協・生活福祉部会では、市内の障がい者施設への支援活動を進めています。東山作業所とも交流をもち、障がい者への理解を深めるよう努めています。

★お問い合わせ先★

〒563-0012 大阪府池田市東山町589番地
TEL.072-750-0560 FAX.072-750-0580

編集後記

今回、コロナ禍での取り組みについてご紹介しました。こんな時だからこそ、新しいことに挑戦し、便利なものを使ってみたいのかもしれませんが、我慢が続く日々ですが、体調に気をつけ、美味しいものを食べて、コロナ禍を乗り切りましょう。(風)

Well おおさか

vol.44
(通巻77号)



発行日: 令和3年2月

発行: 大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局: 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyo/>



QRコードから
簡単アクセス